



“町民の声を町政へ”、町長が地域へ出向いて開催している出前トーク



地元漁師の協力のもと、毎年、町内数地区で行われる小学生の地引網体験



屋内外の施設が充実し、スポーツ合宿の利用も多いスポーツ交流村・ベイスайдアリーナ

7 Town Vision

戦略的な 地域経営の展開

本町では、中長期的な視点での計画的な行政運営や合理的・効率的な財政運営の確立に努めています。また、2003年からは県内の市町村に先駆けて「日曜開庁」を導入するなど、町民ニーズに応えた行政サービスの向上を図っています。さらに、2006年9月からは、神割崎キャンプ場やひころの里、水産振興センターなどの公共施設の管理運営に民間事業者のノウハウを活用した質の高いサービスを提供するため、指定管理者制度を導入しました。2007年3月からは防災・福祉・教育などの分野の高度情報化を図るため、役場と消防署や各学校をはじめとした公共施設を光ファイバ網で結んだ「南三陸町地域イントラネット」の運用を開始し、小中学校における学習支援システムとして、また、テレビ電話による福祉相談や町議会中継サービス、防災情報提供サービスの利活用が始まっています。

6 Town Vision

参加と協働が 活発なまちづくり

“自分たちの住むまち（地域）は自分たちで創る”という意欲的な町民の意識に比べ、本町ではさまざまな主体（団体）を育成するとともに、その活動を支援し、町民が魅力や誇りを感じられるま

5 Town Vision

知性と豊かな心を 育むまちづくり

本町では、町民一人ひとりが生涯の各時期にわたって、いつでも自主的・自発的に学習に取り組むよう「知性と豊かな心を育むまちづくり」を推進していきます。
2003年4月からは、県内で初めての連携型中高一環教育を導入し、志津川高校と町内の4つの中学校が一体となって、教員や生徒間の交流による6年間の計画的・継続的な教育を実施しており、英語・数学の交流授業や部活動の合同練習、中高生全員による地域清掃活動など、生徒一人ひとりの個性の伸長と異年齢集団の中における社会性の育成に努めています。
各地区の公民館などで開催されているふるさと学習会や交流事業、婦人や高齢者を対象とした講座などは、新しい文化を創り出す主体的な活動として地域に浸透し、多くの町民が参加しています。また、史跡や文化財を保護する取り組みとともに、地域に伝わる郷土芸能の伝承活動も行われています。



町議会



町民の自主的活動の場として公民館が盛んに利用されている



各種スポーツ大会が開催されるスポーツリゾート施設「平成の森」



伝統芸能のほか、よさこい踊りや創作太鼓など新しい文化芸能団体も誕生し活動している



約5万本のツツジが咲き誇る5月の春に行われる「田東山マウンテンバイク大会」